

2009 年度第 8 回男性介護研究会

当事者が集う / 語る「場」の思想と技術(1)
- 男性介護者の交流現場からの問題提起 -

2010.1

立命館大学人間科学研究所
男性介護研究会
代表 津止正敏

年明け早々の男性介護研究会を表記のように「当事者が集う / 語る『場』の思想と技術 - 男性介護者の交流現場からの問題提起 - 」と題して、下記の日程にて開催します。

近年、男性介護者の交流会や集いを開催する自治体・団体が各地に広がっています。同じ境遇にある当事者同士で課題を共有し、仲間作りや孤立防止の有意義な取り組みとして、その意義が語られています。

- * 交流や集いはどのようなプログラムを持ってどの程度開催しているのでしょうか？
- * 開催に至るきっかけにはどのようなエピソードがあったのでしょうか？
- * そこではどのような語りや傾聴の場となっているのでしょうか？
- * 交流や集いの企画や運営にはどのような工夫や課題があるのでしょうか？
- * 参加する男性介護者にとってどのような共感と連帯の広がる場となっているのでしょうか？
- * 参加者への広報や運営、終了後のフォローアップはどのようにしているのでしょうか？
- * 集いの運営・マネジメントは誰がどのように担っているのでしょうか？
- * 行政や関係団体、専門職との交流・ネットワークは十分でしょうか？
- * 政策提言や運動づくりの展望をどのように考えているのでしょうか？

訊ねてみたい事柄は上記のほかにも多数に上ると思います。既にこのような集いに取り組んでいる関係者・団体に皆さんをお迎えし、状況をお伺いしたいと思います。今回の研究会は、まずは「どのようなことをやっている」という報告を傾聴する場としますのでご了解下さい。皆さんのご参加をお待ちしています。

記

日時：2010 年 2 月 13 日(土) 午後 1 時半～4 時

場所：立命館大学衣笠キャンパス 研心館3階 632 号教室

内容：「当事者が集う / 語る『場』の思想と技術(1) - 男性介護者の交流現場からの問題提起 - 」

報告団体(予定)： 荒川オヤジの会(東京)、 シルバーバック(長野)、 認知症の人と家族の会京都支部男性介護者の集い(京都)、 南丹市社協(京都)、 スマイルウェイ(兵庫)、 豊中市家族会(大阪)、 大東市家族会(大阪)、 他

コメント：牧野史子さん(NPO 法人介護者サポートセンターアラジン理事長)
津止正敏(立命館大学・男性介護研究会代表)